

デジタル産業から医療福祉産業へ ～ 実践的参入戦略・成功へのロードマップ ～

県内ものづくり企業の医療福祉関連産業への参入を支援するため、医療福祉機器開発に係る関係法令、マーケティングの手法、全国的な医工連携の取組事例などに関するセミナーを開催します。

開催方法 オンライン（Zoomウェビナーにて配信します）
参加費 無料（通信費につきましては、参加者のご負担となります）
主催 秋田県

日時 令和7年11月20日(木)15:00～17:00

申込期限 令和7年11月20日(木) 正午まで

お申込み <https://us02web.zoom.us/j/86751501870>

※参加申込された方に、セミナー参加用のURLが自動配信されます。



15:00～16:15

講演「SaMD がもたらす医療ビジネスチャンス： SaMD開発で知っておくべき法規制と成功のポイント」

【講演内容】

デジタル技術の進展に伴い重要性が増すプログラム医療機器（SaMD）の開発・事業化における薬機法対応、品質マネジメントシステム(QMS)構築の重要性を解説します。



講師：森重 拓也 氏

株式会社日本医工研究所

PLAN-ETプログラム アクセラレーター

【プロフィール】

医療分野への異業種参入における薬事戦略と品質保証の専門家。

「規制があるからこそ他社との差別化ができるチャンスを秘めている」という視点から、新規参入企業が規制を乗り越え、競争優位を確立するための実践的なアプローチを提唱している。

16:15～16:40

事例発表「建設コンサルから医療へ！アワジテックが挑んだ、 水分感知センサー技術での新規参入」

【発表内容】

建設コンサルタント業から医療福祉分野へ異業種参入し、独自のセンサー技術で高い市場シェアを確立したアワジテックの成功事例を紹介します。



事例発表者：森 康昭 氏

株式会社アワジテック

特殊センサー事業部 部長

【プロフィール】

株式会社アワジテックは、建設コンサルタント業を主軸としながら、独自の水分感知センサー技術を開発し、医療福祉分野へと事業を拡大。

特に、透析治療において患者安全に関わる漏血事故を早期に発見する製品や、夜尿症アラーム治療器で全国的に高いシェア(50-60%)を持っている。

16:40～17:00

上記2者によるディスカッション

一般的な医療ニーズを具体的な製品開発へ落とし込むプロセスとマーケティングの役割、重要性をテーマとして、ディスカッションを行います。

【お問合せ】 秋田県産業労働部地域産業振興課 ヘルステック産業チーム

TEL:018-860-2246 E-mail:induprom@pref.akita.lg.jp